

2022/05/23 (月)

朝の礼拝

聖書 マルコによる福音書 10章13-16節 (新約聖書81頁)

イエスに触れていただくために、人々が子供たちを連れて来た。弟子たちはこの人々を叱った。しかし、イエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきり言うておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。

子供のように

平和で豊かな社会に生活している人にとっては、子どもは明るく、元気で、無邪気なイメージかもしれませんが。しかしイエスの時代、子どもは社会で最も弱く、傷つけられやすい存在でした。

現代のような医療はなく寿命は短く、子どもが16歳を迎えるのは三人のうち一人でした。さらにその年には両親あるいは一人は亡くなっていました。子どもは飢え、争い、病気、混乱の犠牲となり、孤児も少なくなかったのです。

だからイエスが「子供のように神の国を受け入れる人でなければ」とは素直で、純粹で、無垢な子どものようにという意味ではありません。この世に何も頼るものがない子供のようにという意味なのです。

皆さんは一日一日大人に近づきます。もう子供には戻れません。でも大人になっても何も頼れないような辛い、悲しいことがあります。その時、神様の前では子供のようにいいのです。神様はその人を抱き上げ、祝福されます。

(しばらく黙祷しましょう)

幼子を祝福された主よ、あなたは神の国はこのような者のものであると教えてくださいました。どうか私たちがすべてをあなたに委ねる時、みこころに適うように成長し、隣人を自分のように愛する道へと導いてください。

今週も小テスト、単元テスト、そして中間テストがあります。どうかベストを尽くし、結果と向き合い、さらに目標をめざして学びを続けるようにお導きください。

今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン